

●令和7年度第1回 幸田町地域公共交通会議 意見対応表

No	ご意見・ご質問	対応方針
1	再編後のルートについて利用人数がどれくらいカバーできるのか確認する必要がある。 OD調査では乗換利用の把握が困難だが、実態としてはそのような利用があると思う。ルート再編後も利用実態を把握し、都度修正が必要。 ルート変更に伴い潜在的な需要(これまで利用していなかった人の利用)も出てくると思うので、利用促進も重要 ルートの再編によりルートの範囲外となる地域の利用者をチョイソコでカバーすることだが、利用対象者の検討は必要と思う(※チョイソコは65歳以上、えこたんバスは制限無し)	・えこたんバスのルート再編後のカバー人口を確認したうえ、チョイソコの利用可能範囲の拡大を検討(運行エリア拡大、運行車両増1台→3台、年齢制限の撤廃等) ・再編後、継続的に利用実態のモニタリングを行う。ルートに関しては、必要に応じて、ルートの微修正を行う予定
2	ルートの再編について停留所の見直しは検討しているか。既存のルートでは走行していない区間について停留所を追加するかどうか。	・現時点の再編案としては、停留所の増減が発生する。地元説明で意見を聞きながら最終的に決定する
3	えこたんバス利用者の居住地、年単位の利用頻度の変化は把握しているか。 そのような調査で、潜在的な需要を予測しないと利用者の需要とマッチしないと思う。	・具体的なモニタリング方法を今後検討する
4	利用実態は年々変わる。実態や潜在的な需要を把握できるような仕組みがあるとよい。 OD調査の結果を基に検討しているが、一週間の調査の信憑性も踏まえて確認するとよい。	
5	OD調査で利用者属性も把握していると思うが、傾向が分かれば教えてほしい。 過去の会議資料で、有償化について記載があるが、何か調査・検討しているものがあれば教えてほしい。	・えこたんバスの有償化は、現時点考えていないが、今後を見据えて、事例収集を引き続き実施する ・チョイソコは、えこたんバスのルート再編により、運行範囲の拡大を予定しており、運行コストの増加と想定しており、継続的に運行させるため、有償化を検討している
6	安城市では有償(100円)で運行している。参考になると思うが事例収集してるか。	
7	バスルートの名称が分かりづらいので工夫してほしい。 乗車中に走行位置や次のバス停が分からないので、文字情報を増やしてほしい。	・ルート再編に伴い、検討する
8	ルート再編により、ルート①～④で所要時間が異なるが、便数は統一となっている。 便数は変わらないのであれば、ルート①～③の運行範囲拡大など工夫可能と思う。	・運行時間の短縮により、利用促進を図ることをルート再編の方向性としているため、運行範囲の拡大は、今回は見送る